殷鑑不遠

2009年度
㈳ 鳥取青年会議所
会報誌　2月号

因幡

INNOVA〔ina:va〕
変革

1月24日（土）、25日（日）京都会議

「変わることの大切さ」

理事長　水野　由久

1月24日、25日の2日間、京都会議に多くのメンバーで参加してきました。私は本年で10回目になりますが、京都会議で新会頭の挨拶を聞くことによって、新鮮な気持ちになり、一年間頑張るエネルギーが湧いてきます。安里会頭は自分のJCにおける体験を自分の言葉で実直に語られ、仕事と家庭とJCの両立の困難さと大切さを伝えられました。そして今、我々に求められている事は「己を律すること」であると力説されました。

社団法人釧路青年会議所との合同LOMナイトでは、40年を越える長い信頼関係のなかで培ってきた友情を感じながら、我々も負けずに頑張らなくてはいけないと強く感じました。またビデオレターで社団法人釧路青年会議所の理事長経験者等の方々から社団法人鳥取青年会議所の創立50周年を激励するお言葉をいただきました。こんなに遠い所から我々の創立50周年を応援していただいていることに胸が熱くなりました。本当にありがとうございました。

一方、世界に目を向けるとアメリカ合衆国は今までにない大きな変化を選択し、オバマ新大統領が誕生しました。変化には必ず苦痛が伴いますが、それを受け入れなければ取り返しのつかない暗い未来が待っていることを認識しているのでしょう。社団法人鳥取青年会議所も変化を選択しなければならない時期に差し掛かっているのではないでしょうか。幸い、我々はそれを受け入れ、更なる発展を遂げる為の「英知」と「勇気」と「情熱」を持ち合わせています。勇気をもって、今までの既成概念を打破する組織運営、事業運営を試みなければなりません。もし、やってみて間違っていたら修正すればいいだけなのです。それは「失敗」ではなく「学び」なのです。変化することによるリスクは変化しないリスクに比べると格段に少ないのです。

各委員会は事業に向けて着々と準備を進めていると思います。小さくまとめるようとする必要はありません。未来の笑顔をイメージしながら、壮大な夢を語り、それに向かってチャレンジしましょう。それが我々青年の特権なのですから。

2009年度　日本JCスローガン
やさしくあるために、つよくなる
愛に満ち溢れたつよいＪＡＹＣＥＥによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度　鳥取ＪＣスローガン
～　未来の笑顔は我が責務なり　～
将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って（社）鳥取青年会議所は活動します。

Tottori JC 50th

〔殷鑑不遠〕いんかんふえん…自分の戒めとなるものは、近くにあることのたとえ。「殷」は古代中国の国。「鑑」は鏡で、手本の意。殷王朝の戒めとなるよい見本は⇒

京都会議

【総務委員会】
委員長　橋本　泰治

去る1月22～25日、京都会議の地で2009年度　京都会議が開催されました。日本青年会議所運動のスタートの場として今年度の運動理念や事業計画を全国に発信することにより、共有意識を高める機会でありました。本年度は総務委員会という立場で、24・25日の両日に向け、準備・設営する側となりました。当日は、大きなトラブルもなく無事に帰鳥する事ができたのもメンバー皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

今回の準備・設営で学んだ事を委員会メンバーで検証し、全国会員大会ではより良い準備・設営ができるようメンバー一丸となり取組んでまいります。

第1回 研修会員研修会

【組織力向上特別委員会】
委員長　柴原　史則

1月27日（火）組織力向上特別委員会メンバーと十二名の研修会員そして、水野理事長にも参加していただき、第1回研修会員研修会が行われました。当日は青年会議所の活動理念や概要、よく使われる基本的な用語の説明やマナー等と併せ、『環光のまち因幡』推進運動とそこに至るまでの経緯についても学習しました。会場は始まりから終わりまで良い緊張感に包まれ、全員が真剣に取り組んでおり、2時間半という長丁場ではありましたが、充実した研修会となりました。研修会員の皆さん、お疲れ様でした。

前期研修会員入会所信

前期研修会員　田中　玄洋

『怒られるありがたさを忘れないように』。そのような思いで入会させていただきました。私が鳥取大学在学中に弊社は、学生団体を母体とするNPO法人です。今年度より職員を採用し、責任が大きくなる中で、組織のトップは怒られる機会というのが少なく、怒られる中で学ぶ環境を得たと思っております。

弊社は学生にキッカケを地域に笑顔をキャッチコピーに、学生の社会参画をアルバイトやボランティア、イベント企画など、様々な視点でサポートし地域に新しい風を送り込む仕組みづくりを事業としております。具体的には、会員学生へのメール配信による情報提供、学生プロジェクトチームによる地域活性化など農学部の出身ということもあって、鳥取県内の農村部との繋がりは強く、委員会活動も田舎を発信するという部分では、仕事の経験を活かせるのではないかと思っております。今後もよろしくお願いいたします。

※他の前期研修会員入会所信はホームページに掲載しています。

第1回 鳥取ブロック協議会

【鳥取ブロック協議会連携推進運動実践委員会】
委員長　妹尾　祐司

12月1日（日）東伯の地にて第1回鳥取ブロック協議会を開催させていただきました。

それに先立ちまして、役員会議と会員会議所会議が開かれ、今年度の各委員会の取り組みについて、議論を交わしてまいりました。

当日は鳥取JCからは多くのメンバーにご参加頂きありがとうございました。

岡崎会長のJC、そして鳥取県への熱い思いを皆さんと共有して明るい豊かな鳥取県を目指して「前へ」進んで行きましょう。

◎2月理事会報告

【社会参画推進委員会】
委員長　田中　雅幸

2月10日に2月理事会が行われました。その中で、創立50周年記念大会の4議案が承認されました。私自身が周年を初めて経験しますので規模の大きさに驚いているわけですが、やはり50周年記念大会は全てのメンバーがしっかりと理解し、一丸となって動かないと成功はありえないと感じました。メンバー全員で必ず成功させましょう。

◎若草学園施設交流事業のご案内

【青少年育成委員会】
委員長　星山　君泰

この度、3月3日（火）ひなまつりに若草学園施設交流事業を開催いたします。本年初の対外事業となります。2007年度以降の入会の方や研修会員の皆様におかれましては、積極的に参加していただきたいと思います。何卒御協力のほどよろしく願いします。

2009年3月3日（火）
場所　湖山西体育館
時間　研修会員　8時45分
全メンバー　9時30分

◎青雀会

本年度、第1回目の青雀会優勝者は、西垣豪君でした。おめでとうございます！詳細はホームページをご覧ください。

◎メンバー紹介

会員専用ページにて鳥取JCメンバー4名の紹介記事を掲載しています。ぜひご覧ください！

●今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL http://torijc.hal.ne.jp

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷：(社)鳥取青年会議所　広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地　鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階　TEL：0857-24-1638
発行日：2009年2月18日

Tottori JC 50th

⇒遠くに求めなくても、すぐ前代の夏王朝の暴政による滅亡があるという意。戒めとなる失敗の前例は遠くに求めずとも、身近にあるからこれを戒めとせよということ。